

和 VOL.4 なごみ

Miyata Eye Clinic
Communication Magazine

特集

白内障手術～眼内レンズ～

耳より 宮田眼科病院
副院長 中原 正彰

ご存知ですか？この病気！
「感染性角膜潰瘍」



福寿草(人吉五木村 仰鳥帽子山) 撮影：中村ヤス子

特集 白内障手術 ～眼内レンズ～

白内障手術では、濁った水晶体を取り除き、代わりに人工のレンズを入れます。
今回は、当院で採用している人工レンズ(眼内レンズ)の特徴について紹介いたします。

眼内レンズの種類

● 単焦点レンズ(保険適応)

もっとも一般的な眼内レンズで、一つの距離だけにピントを合わせるレンズです。

例えば、遠くが見やすいように合わせると近くを見るときは老眼鏡が必要になります。逆に近くが見やすいように合わせると遠くを見るときには眼鏡が必要になります。

● 単焦点トーリックレンズ(保険適応)

正常な角膜はきれいなカーブを描いていますが、このカーブが歪んでしまうとレンズを通して見た像も歪んでしまいます。これを乱視と呼びます。

強度の乱視がある場合、手術をしてもピントが合わず十分な視力を得られない場合がありますが、このレンズは乱視を矯正・軽減することができます。

このレンズは、限られた眼科施設のみ(南九州では約20%の施設)で使用されている特殊なレンズです。

● 多焦点レンズ(保険適応外；先進医療)

光の性質を利用して、遠くと近くの2ヶ所にピントが合うように設計されています。手術後になるべく老眼鏡を使いたくない、という方にはおすすめですが、必ずしも眼鏡が不要になるというわけではありません。

また、夜間の街灯や車のライトがまぶしく感じることもあります。

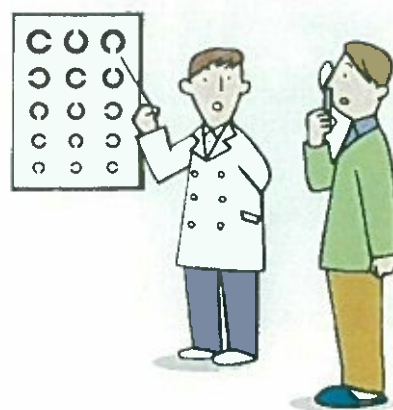
遠くと近く

“遠くに合わせますか？近くに合わせますか？”とたずねられたとき、どの程度の距離をイメージされるでしょうか。

「近く」とは、概ね40cm程度をいいます。新聞や本を読む距離、パソコンを操作する距離です。

テレビを見る距離や、車の運転などは「遠く」になります。

日本では、遠くの視力は5メートルの距離で計測するのが一般的です。





中原 正彰 (なかはら まさあき) 先生

医療法人明和会 宮田眼科病院 副院長
千葉大学医学部附属病院 非常勤講師



中原先生は、網膜剥離、糖尿病網膜症など網膜硝子体疾患の治療を専門にされています。手術症例数は、平成28年度で600数十例と全国屈指で、その手術技術の高さには定評を頂いております。

趣味はウォーキングとドラム演奏。長時間の手術に備えた体力づくりと、手足をバラバラに動かしたりリズムをとることが、手術のためのよい鍛錬になっているとか…?!

先生の診察を希望される患者様が多く、近々では予約がとれないこともあります。早めのご予約をお願いします。

シリーズ

ご存知ですか? この病気!

1

20歳 OLのA子さん

1年前にインターネット通販で、カラーコンタクトレンズを購入。おしゃれのために毎日10時間つけていました。



3

ある日の朝、激しい痛み、充血とともに、まわりがほとんど見えなくなっていることに気づき、あわてて眼科を受診しました。



痛い…

2

1週間前から、右眼に異物感を自覚していたが、そのうちに治ると思い、がまんしながらコンタクトをつけていました。



4

カンセンセイカクマクカイヨウ

診断『感染性角膜潰瘍』

角膜の表面に生じた傷から細菌が侵入することによる眼障害であり、細菌の種類によっては失明の可能性もある。

インターネット通販で購入できるカラーコンタクトレンズや量販店で販売されているレンズは厚生労働省の承認を受けていない商品があり、通常のコンタクトレンズよりも角膜の表面に傷がつきやすいことが指摘されています。

コンタクトレンズは、眼科を受診して適切なものを使用しましょう。

傷がつきやすい原因

- 1) レンズ表面への着色色素の露出や、著明な凹凸の存在
- 2) 酸素透過性が低い材質であること
- 3) 形状の選択肢が少なく、眼の形状に一致しないまま使用することが多い





Information

27Gシステムによる 一日帰り硝子体手術

当院では平成28年11月よりコンステレーション ビジョン システムを導入しました。これまで、網膜硝子体の疾患に対する手術については、都城 宮田眼科病院に入院して頂いておりましたが、比較的軽度の症例は鹿児島でも手術できるようになりました。



ALCON
Constellation
VISION SYSTEM

硝子体手術は、目の中にある硝子体を切除しその先の網膜に対して治療を行う、眼科領域で最も高度な治療の一つです。

当院で行っている27G(ゲージ)システムは最新の技術で、わずか0.4mmほどの穴を開けるだけで手術が可能になりました。

学会活動報告

◆第70回 日本臨床眼科学会

- ・フェムトセカンドレーザーによる前眼部手術の進歩フェムトセカンドレーザーを用いた乱視矯正
- ・増殖糖尿病網膜症に対する硝子体手術
- ・症例から学ぶ感染症・炎症性疾患
-これって感染?それとも非感染?
- ・眼内レンズの表面散乱が実用視力に及ぼす影響

◆European Society of Cataract and Refractive Surgeons

- ・Intraocular lens power calculations after LASIK using ray-tracing and anterior-posterior corneal topography data

◆第32回 日本視機能看護学会

- ・術眼洗眼における吸水シートの有用性
~1人でできる洗眼をめざして~
- ・角膜移植後の外傷予防

一部抜粋して紹介させて頂いております。上記紹介のほか、論文発表、専門書への投稿を行っています。詳しくはホームページをご覧ください。



光あるよろこびをあなたに

M 医療法人 明和会

鹿児島宮田眼科

鹿児島市西田1丁目5-1

宮田眼科病院

宮崎県都城市蔵原町6-3

予約センター

(鹿児島) 099-286-1233 (都城) 0986-46-1200

予約受付時間 平日 8:30~17:30 土曜日 8:30~13:00

ホームページ <http://www.miyata-med.ne.jp>